

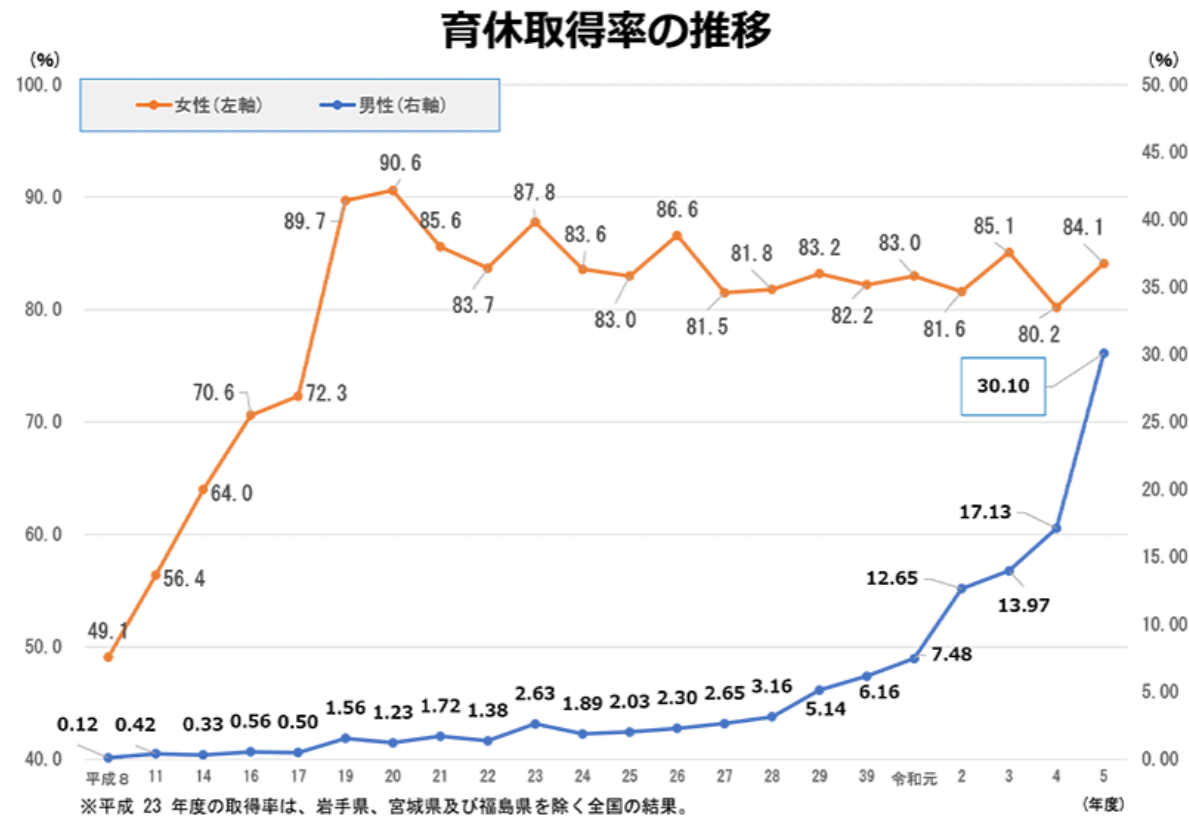
# 男性育児休暇を 広めるためには？

～取るだけじゃ意味がない。本当の育休を考える～

# このテーマにしたきっかけ

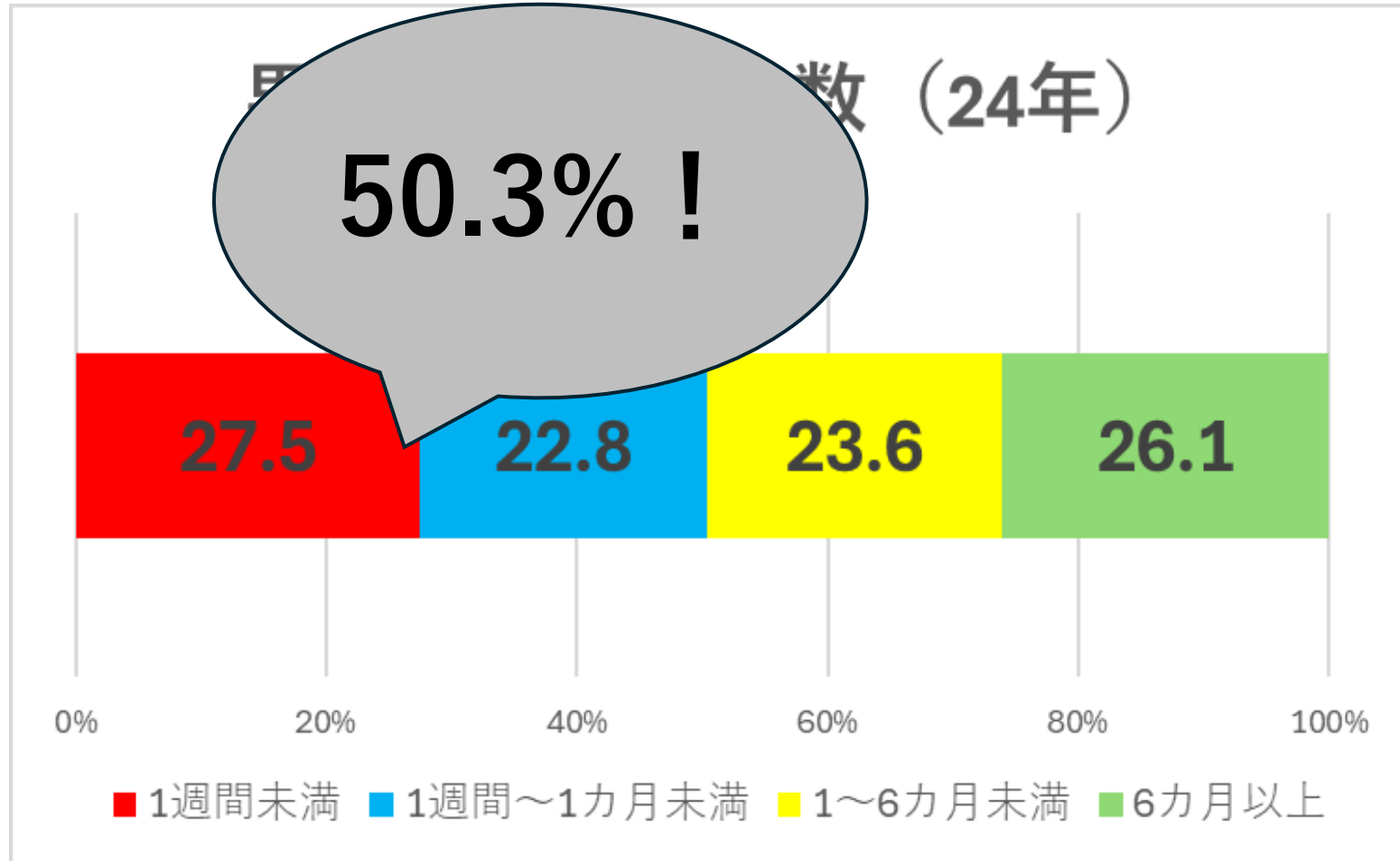
- ジェンダー平等実現のため
- 少子化対策にもつながると考えたため。

# 取得率の推移について



男性の育児休暇取得率は令和6年度で**40.5%**にまでなった。

# 取得日数が短い



約半分が  
「1週間または1週間～1か月未満」と答えている。



これで本当に育児に参加できているといえるだろうか？

# インタビューした方の事例紹介



- ・夫が家事育児に無関心で逆に迷惑。
- ・夫が仕事の都合で出産直後に育休を取れなかった。
- ・育休を取りたいが、出世に影響するかもしれないとジレンマを抱え、取らなかった。

# 男性育休啓発動画を作成

- なぜ高校生に向けた動画か？



男性育休取得の理解促進のために、  
「子育て学」を必須科目とすることを提案するとの記述から…

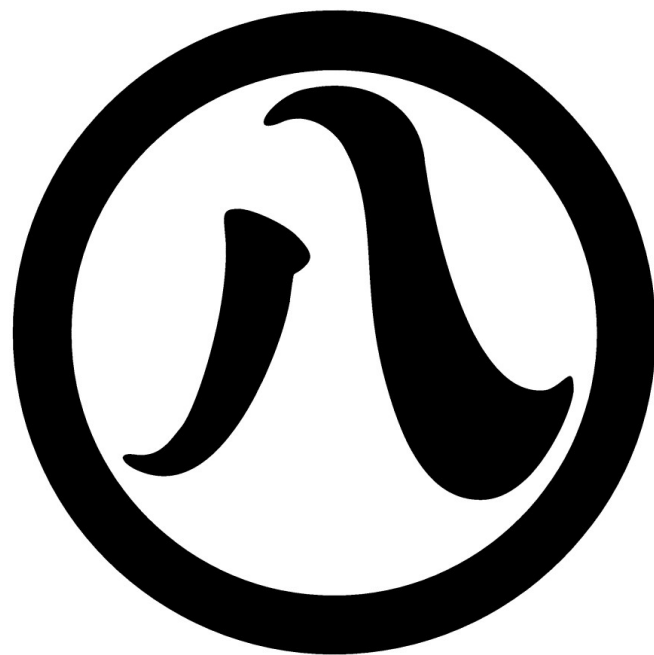


自分が動画という形で、高校生に向けて  
**啓発活動をしてみたい**と思った！！

# NPO法人育Qひろばさんのイベントに参加！



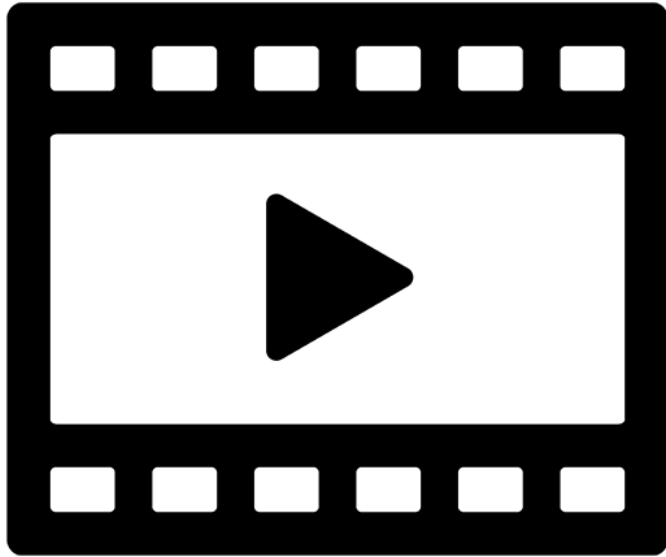




名古屋市への提案3つ



# 名古屋市への提案 1 つ目



- 名古屋市としてこうした動画作成事業をやり、その動画をHPに載せたり、学校の授業等で流したり、企業の方に提供したりすることで、男性育休に関しての教育を施していただきたい。

# 名古屋市への提案 2 つ目



- この動画を使って、市役所で僕にワークショップをやらせていただきたい。

男性育休を取ったとしても、十分に子育てに関わっていない事例を紹介し、それを解決するために社会はどうあるべきなのか、その社会を実現するために自分たちができることは何かを考える。また自分たちが社会人になった時に、育休をしっかりと意味があるように活用すること、同じ職場の人が育休を取るようになった時は、しっかりと快く受け入れてあげよう。

というようなことなどを啓発する参加型ワークショップを行います。

# 名古屋市への提案 3 つ目



- 育Qひろばに限ったことではないが、このような相談できるNPO法人（コミュニティ）があるのだということを、きずなネットで紹介してほしい。



子育てする人にとって相談できる人がいるというだけで、心の支えになるということも学んだ。

このプロジェクトに協力してくださった  
方々を紹介します。



NPO法人育Qひろばの方々

このプロジェクトに協力してくださった  
方々を紹介します。

- 名古屋市議会議員
- 名古屋市子ども青少年局子育て支援課